

令和 1 年度 事務事業評価シート

事務事業の概要・計画 (PLAN)

事務事業名	唐川コミュニティセンター運営事業	会計名称	一般会計		担当課	社会教育課	
		予算科目	10 款 5 項 5 目	事業番号	4890	所属長名	山岡慎司
事業評価の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 評価対象事業 <input type="checkbox"/> 評価対象外事業 (事業の概要・結果のみ)				担当責任者名	鶴岡憲雄	
法令根拠等	教育基本法、社会教育法、社会教育基本方針				実施期間	【開始】	令和/平成 18 年度
総合計画での位置付け	生涯教育都市の創造 生涯にわたり学習できる環境づくり					【終了】	令和 年度(予定) <input checked="" type="checkbox"/> 設定なし
総合計画における本事業の役割	適切な施設の維持管理、運営を行うことで、地域住民に体育、レクリエーション、地域コミュニティの場を提供する。						
事業の対象	市民 (主に唐川地区)			事業の目的	施設の維持管理、運営を適切に行うことで、体育、レクリエーション、イベントでの活用を図る。		
事業の内容 (整備内容)	施設の維持管理、運営			昨年度の課題に対する具体的な改善策			

事業活動の内容・成果 (DO)

事業費及び財源内訳 (千円)							事業活動の実績 (活動指標)					
項目	前年度決算	当初予算額	補正予算額	継続費その他	翌年度繰越	決算額	項目	単位	前年度実績	1 年度予定	9月末の実績	1 年度実績
直接事業費	142	226	0	0	0	148	夜間照明使用回数	回	1	1	0	0
財源内訳												
国庫支出金		0	0	0	0	0	グラウンド使用回数	回	1	1	1	1
県支出金	0	0	0	0	0	0						
地方債	0	0	0	0	0	0						
その他	0	0	0	0	0	0	建物使用回数	回	1	1	1	1
一般財源	142	226	0	0	0	148						
職員の人工 (にんく) 数	0.00	0.07				0.07						
1人工当たりの人件費単価	7,982	7,992				7,992						
※ 直接事業費+人件費	142	785				707						
主な実施主体	直接実施		実施形態 (補助金・指定管理料・委託料等の記載欄)		消防用設備保守点検委託(23千円)、樹木剪定委託(47千円)							
向こう5年間の直接事業費の推移 (千円)					2 年度	3 年度	4 年度	5 年度	6 年度	5年間の合計		
					195	195	195	195	195	975		
成果指標	指標	施設使用回数	単位	⇒	区分年度	前 年度	1 年度	2 年度	目標 毎 年度			
	指標設定の考え方	適切な施設の維持管理、運営を行うことで、利用拡大が図れているか。			目標	3	3	3	3			
	指標で表せない効果				実績	3	2					

事務事業評価 (CHECK)

新たな課題や当初の改善策に対する対応状況 (今年度の途中経過)		施設・設備等の老朽化に対する改修・修繕対応を図る								
事務事業の評価	自己判定 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	2	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	C	事業成果・工夫した点 事業の苦勞した点・課題	施設利用者からの報告、現地確認等により施設の適正な維持管理に努める	
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢又は行政事務に必要である。	2					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の関与が適切である。	2					
		有効性	事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	2					
			成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	2					
			施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	2					
	効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	2						
		コスト効率	5 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	2						
		市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担は適正と認められる。	2						
	一次判定 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	5 4 3 2 1 この事業では施策の目的を果たすことができない。	3	合計点が 14~15 : S 10~13 : A 8~9 : B 5~7 : C 3~4 : D	B		事業の方向性 所屬長の課題認識	■ 事業継続と判断する。 □ 事業縮小と判断する □ 事業廃止と判断する (判断の理由) 施設の老朽化が進んでいるため、地元の理解を求め、説明責任を果たしつつ、施設の廃止を視野に検討していくが、方針決定まで事業継続とする。
			社会情勢等への対応	5 4 3 2 1 社会情勢に概ね適合する。又は、行政事務に必要である。	3					
			市の関与の妥当性	5 4 3 2 1 市の関与が適切である。	3					
有効性		事業の効果	5 4 3 2 1 市民生活や行政内部の課題解決に向けて対応できている。	3						
		成果向上の可能性	5 4 3 2 1 既に相応の成果を得ているが、まだまだ成果向上の余地がある。	3						
		施策への貢献度	5 4 3 2 1 施策推進への貢献は多量である。	3						
効率性	手段の最適性	5 4 3 2 1 現状では最善の手段であり、他の方策を検討する必要はない。	3							
	コスト効率	5 4 3 2 1 コスト削減に向けた取り組みを実施し、それに見合う成果を得ている。	3							
	市民(受益者)負担の適正	5 4 3 2 1 他事例と比較し、財源・税負担も含め市民負担は適正と認められる。	3							

施策を踏まえた判断	二次判定	<input type="checkbox"/>	一次判定結果は以下の点について良好と評価し、更なる事業推進を求める。	⇒ 指摘事項を踏まえ、事務改善、事業推進に努め、今年度の事務事業評価シートに反映させること。
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断する。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業継続と判断するが、以下の課題を新たに追加する。	
		<input checked="" type="checkbox"/>	一次判定は以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
			低評価（判定）のため行政評価委員会に諮る。	
		<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業縮小と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。	
<input type="checkbox"/>	一次判定結果のとおり事業廃止と判断し、行政評価委員会に諮ることとする。			
<input type="checkbox"/>	既に事業廃止が決定していることから、廃止に向けた手続を行う。			

行政評価委員会の答申	外部評価	<p><b>答申の内容</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ふれあい館と同じで大変である。地域の人たちは隣接の唐川ふれあい館を利用するため、施設の必要性は低い。</li> <li>施設廃止に向けた検討の流れにあると思う。使用状況から考えても、妥当な判断だろう。</li> <li>旧小学校施設ということで、地域の人たちには郷愁があると思われるが、それだけではやっていけない。</li> <li>維持管理に係る経費は少ないとはいえ、終着点を決めて、廃止に向けた住民説明等も含めて粛々と進めるしかない。</li> <li>夜間照明があるにも関わらず、利用実績がない状況にあり、非常に厳しい印象である。</li> <li>これまで審議をしてきた施設の中で最もお荷物感がある。1日も早い廃止に向けて進めていくべきである。</li> </ul>
------------	------	--

今後の方向性 (ACTION)

の経営者判断会議	事業の方向性	<input type="checkbox"/> さらに重点化する。 <input type="checkbox"/> 現状のまま継続する。 <input type="checkbox"/> 見直しの上、継続する。 <input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する。 事業を縮小する。 <input checked="" type="checkbox"/> 事業の休止、廃止を検討する。 事業を休止、廃止する。	コメント欄 施設の利用回数も少なくなっており、今後は行政財産から普通財産へ移行させ、休止・廃止に向けた取組を進めること。